

1. 件名：福島第一原子力発電所における6号機RHRポンプ（B）圧力抑制室吸込弁駆動部シャフト折損事象の追加調査結果に係る面談

2. 日時：令和元年12月12日（木）13：35～13：50

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、宇野課長補佐、高松係員

長官官房 総務課 事故対処室

齊藤室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 運転・保安グループ担当

2名

5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社より、福島第一原子力発電所6号機RHRポンプ（B）圧力抑制室吸込弁駆動部シャフト折損について、11月26日に同社から説明を受けた後の追加調査結果として、資料に基づき以下の報告があった。
 - 本事象の時系列において、6号機RHRポンプ（B）圧力抑制室吸込弁のシートリークに対し、2回目の増し締めを実施した時間に訂正があること。（11月19日15時頃を14時30分頃に訂正）
 - 当該吸込弁の駆動部シャフト折損の時間に訂正があること。（11月19日16時頃を15時頃に訂正）
 - 系統概要図の凡例をわかりやすくするために修正したこと。
 - シャフト折損の原因調査をするため、シャフトをメーカーに送ること。
 - 現在、メーカーに送る準備をしており、原因調査の報告には時間を要す見込みであること。
- 原子力規制庁は上記の内容を確認し、今後検討する原因と対策については引き続き報告することを求めた。

6. その他

資料：

福島第一原子力発電所6号機RHRポンプ（B）圧力抑制室吸込弁駆動部シャフト折損について